

今月の一言

キーワード：「負ける」と「負けている」は全く別物である

ある晩僕は、原稿を取りに行った際、阿佐田さんに人生相談を持ちかけた。

「僕はもう駄目です。人生は終わりました。どうしたらいいのか、全くわかりません」

僕の悲愴な面持ちとはうらはらに、阿佐田さんは顔色一つかえなかった。

「見城君、君は十万円を持って競馬に行くと、九万九千九百円を失ったら「負けた」と思う人なんだよ。でも、百円あったら、まだ勝負はできる。君はわかなくて、才能があるけれど、結論を早く出しすぎる。それが君の欠点だよ。百円が残っている限り、それはプロセスであり、勝ちでも負けでもない」

その言葉に、僕は胸を突かれた。目から鱗が落ちたような感覚の後、急に気持ちが軽くなった。

誰の目にも、勝敗が明らかかな時がある。しかし、本当はまだ、勝敗は決まっていない。結果が出た瞬間だけが「負けた」ということなのだ。九割九分負けていても、それはまだ途中経過なのだ。そこから「勝ち」に逆転できることもある。

「人は自分が期待するほど、自分を見ていてはくれないが、がっかりするほど見ていなくはない」

著者：見城 徹・藤田 晋 より抜粋

来週から、7月！ 今期も後半戦に突入します。アクションプログラムを見直し、各自の行動目標が明確になったと思います。仕事は忙しくなると思いますが、安全と品質確保に配慮して、粗利率アップに全力で取り組みましょう。

後半戦は、毎月白星！

2012年6月25日

さいのう とおる

追伸：鮎も解禁になり、夏はもうすぐ！暑くて忙しい毎日を乗り切る、体力づくりを・・・熱中症にも注意！